

当院の体制について

●入院基本料について

当院では、(日勤、夜勤あわせて)入院患者7人に対して1人以上の看護職員を配置しております。また入院患者25人に対して1人以上の看護補助者を配置しております。

●DPC対象病院について

当院は入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせるDPC対象病院です。医療機関別係数1.5748(基礎係数1.0451+機能評価係数Ⅰ0.4268+機能評価係数Ⅱ0.0910+救急補正係数0.0119)

●医療情報取得加算について

当院では、マイナ保険証の利用や問診票等を通じて患者様の診療情報を取得・活用することにより、質の高い医療の提供に努めています。正確な情報を取得し活用するため、マイナ保険証によるオンライン資格確認等の利用にご理解とご協力をお願いします。

●医療DX推進体制整備加算について

当院は、医療DXを推進するための体制として、以下の項目に取り組んでいます。オンライン資格確認等システムより取得した医療情報等を活用した診療の実施。マイナ保険証利用の促進等による医療DXを通じた質の高い医療の提供に対する取り組み。電子処方箋の発行体制の導入。電子カルテ情報共有サービスの導入。

●明細書発行体制について

当院では領収証をお渡しする際、計算の基礎となった項目ごとに記載した明細書を無料で発行しています。明細書が必要でない方はお申し出ください。

●緩和ケアチームについて

当院では、入院する患者さんの症状マネジメントを行っております。患者さんの症状コントロール、QOLの改善・維持ができるように支援します。

●栄養サポートチームについて

当院では、入院する患者さんの栄養状態を評価し、適切な栄養管理の推進を行っております。患者さんが最適な栄養管理を受け、早期退院や社会復帰ができるように支援します。

●医療安全対策について

当院では医療事故防止対策、院内感染防止対策を含めた医療安全の意識向上、安全文化の構築を目的として医療安全管理部門を設置しており、職員への教育・指導を行っております。また、事故防止のために患者さんにご協力を依頼することがありますので、よろしくお願いいたします。

当院の体制について

●感染防止対策について

感染防止対策は、良質・適切な医療提供の基盤となるものです。当院は感染防止対策を病院全体として取組み感染対策チーム(ICT)が医療施設内における全ての人々を対象として、院内感染発生の予防と発生時の速やかな対応に努めております。

●ハイリスク分娩管理加算に係る人員配置と年間分娩件数について

当院では常勤の産婦人科医11名、助産師24名を配置しております。令和6年1月から令和6年12月までの分娩件数は150件です。

●医薬品の供給体制について

当院では、医薬品の供給が不足した場合に治療計画等の見直しを行う等、適切に対応する体制を有しております。医薬品の供給状況によって投与する薬剤が変更となる可能性があります。その場合は患者さんに十分な説明を行います。

●後発医薬品について

当院では、患者さんの医療費負担軽減及び医療保険財政の改善のため、後発医薬品(ジェネリック医薬品)を積極的に使用しております。ご不明な点等ございましたら、主治医または薬剤師にお尋ねください。

●バイオ後続品について

当院では、患者さんの医療費負担軽減及び医療保険財政の改善のため、バイオ後続品(バイオシミラー)を積極的に使用しております。ご不明な点等ございましたら、主治医または薬剤師にお尋ねください。

●一般名処方について

後発品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方(お薬の「商品名」ではなく「有効成分 I」を処方箋に記載すること)を行う場合があります。そうすることで、供給不足のお薬であっても有効成分が同じ複数のお薬が選択でき、患者さんに必要なお薬が提供しやすくなります。

●入院時の食事について

当院では、入院時食事療養(I)の届出を行っており、管理栄養士によって管理された食事を適時(夕方については午後6時頃、適温で提供しています。

●院内トリアージの実施について

当院では夜間/休日又は深夜に受診される患者さんに対して、院内トリアージ基準に基づき医師又は看護師が患者さんの状態を評価し、緊急度区分に応じて診療の優先順位付けを行います。そのため、診察の順番が前後する場合もございますが、ご了承ください。

当院の体制について

●外来腫瘍化学療法診療料について

専任の医師、看護師又は薬剤師が院内に常時1人以上配置され、本診療料を算定している患者さんから電話等による緊急の相談等に24時間対応できる連絡体制を整えています。また、急変時等の緊急時には入院できる体制を確保しております。なお、当院で実施される化学療法のレジメン(治療内容)の妥当性を評価し、承認する委員会(化学療法委員会)を定期(月1回)開催しております。

連携医療機関:国家公務員共済組合連合会 千早病院

所在地:〒813-0044 福岡県福岡市東区千早2丁目30-1 Tel:092-661-2211

●アレルギー性鼻炎免疫療法について

当院では、アレルギー性鼻炎免疫療法を行っております。

●コンタクトレンズ検査料について

当院では、コンタクトレンズ検査料1の届出を行っております。コンタクトレンズ検査料の費用については以下の通りです。

初診時…初診料(291点)+コンタクトレンズ検査料1(200点)、再診時…外来診療料(76点)+コンタクトレンズ検査料1(200点)

※過去にコンタクトレンズ検査料が算定されている場合は、外来診療料を算定させていただきます。

※ご不明な点がございましたら、病院職員へお尋ね下さい。

担当医師: 瀧 瑠美子 (眼科診療経験年数 13年)

●慢性維持透析を行っている方への下肢末梢動脈疾患に関するリスク評価について

当院では、慢性維持透析を行っている患者さんに対し、下肢末梢動脈疾患に関する検査を行っております。検査の結果、専門的な治療が必要と判断した場合は、その旨をご説明し同意をいただいた上で、連携医療機関へ紹介させていただいております。

●敷地内禁煙について

当院では、健康への影響と防災の面から敷地内全面禁煙となっております。

昨年の実績について

1. 令和6年1月～令和6年12月の医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術の実績

区分	手術名称等	症例件数
区分1	頭蓋内腫瘍摘出術等	13
	黄班下手術等	16
	鼓室形成手術等	60
	肺悪性腫瘍手術等	65
	経皮的カテーテル心筋焼灼術	96
区分2	靭帯断裂形成手術等	4
	水頭症手術等	7
	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0
	尿道形成手術等	5
	角膜移植術	0
	肝切除術等	27
	子宮附属器悪性腫瘍手術等	29
	区分3	上顎骨形成術等
	上顎骨悪性腫瘍手術等	7
	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	1
	母指化手術等	1
	内反足手術等	0
	食道切除再建術等	0
	同種死体腎移植術等	0
区分4		1,021
その他	人工関節置換術	298
	乳児外科施設基準対象手術	0
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	21
	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。）及び体外循環を要する手術	1
	経皮的冠動脈形成術	19
	急性心筋梗塞に対するもの	0
	不安定狭心症に対するもの	4
	その他のもの	15
	経皮的冠動脈粥腫切除術	0
	経皮的冠動脈ステント留置術	101
	急性心筋梗塞に対するもの	11
	不安定狭心症に対するもの	14
	その他のもの	76